

業務資料 No. 262

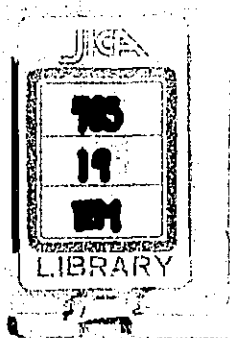
開資 2

ブラジル地方都市の企業誘致状況

——サンパウロ州ソロカバ市とその近傍市——

昭和48年12月

海外移住事業団



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 4. 10	703
登録No. 03210	19
	EM

(はじめに)

当事業団サンパウロ支部は、このほどサンパウロ市近傍のソロカバ市、サルト市、イター市およびサンロック市の企業誘致の働きを調査した。

最近、日本からブラジルへの企業進出はブームといわれる程盛んになってきた。これら進出企業の多くは、ブラジル工業生産の過半を占めるサンパウロ州、中でもサンパウロ市を中心とした約100KMの範囲内に集中している。

特に、サントス街道方面への進出が目立ち、最近では、この方面はすでに飽和状態に達したといわれ、このところモジダスクルーセス市、スザーノ市方面や、リオデジャネイロ街道ぞいへの進出がふえてきた。このほか、カンピナスからリメイラに通ずるアニャンゲーラ街道ぞいにあるいはコチャ街道やクリチーバ街道ぞいなどへも、企業進出がすすめられている。

一方わが国の民間海外投資は、近年急速に増大し、73年3月末には67億7,300万ドル(許可額累計)に達した。72年3月末の海外投資額累計は44億8,100万ドルであったから、72年度中の投資額は実に23億ドルにものぼる。

このなかで特に注目される点は、ブラジルへの投資が韓国に次いで増加していることで70年度の1,900万ドルから71年度には1億2,060万ドル、72年度には1億4,800万ドルと急増し、73年3月末の累計額は5億6,000万ドルになっている。

以上のように日本企業のブラジル進出が活発となり、また、ブラジルでの進出地域が広がっている中で、道路網が整い、立地条件に恵まれたカステロブランコ街道ぞいのソロカバ市などの企業誘致状況を知ることが、大いに意義があると思われる。

JICA LIBRARY



1024179[2]

なお、調査の段階で入手した「ソロカバ市の総合的发展」と題する小冊子の要約も添付した。

本書が、ブラジルへの企業者移住を希望する方々にご利用願えれば幸いです。

昭和48年12月

海外移住事業団

開発部長 永田 晃

1. ソロカバ市

(1) 市概況

ア. 人口 220,000人(今後3年で倍になると市ではみている。)

イ. 産業 古くから工業都市として発展して来ており、工場数は50にのぼる。

主として鉄鋼紡績、セメント(資料参照)

ウ. 教育労働力 工科大、工業高校、SENAI等合わせて7校あり労働力は比較的恵まれている。

エ. 交通 リメイラからイグアツベに通じる砂糖街道が近くを通る計画(輸出用道路)で、現在のカステロブランコ街道とあわせ極めて恵まれている。

オ. その他 医療通信等別添資料参照

(2) 企業誘致

ソロカバ市は、サンパウロ市から約86Km、カステロブランコ街道からソロカバ市までも立派な道路が建設された。

市は、このカステロブランコ街道に通じる道路(新旧道路共)及び、ソロカバ河、カステロブランコ街道それぞれ各巾1Kmを工業誘致地区に指定し、諸種の優遇措置をとっている。

誘致地区の総面積は120アルケール。

ア. 租 税

市税の30年間免除

(Imposto PredialとImposto Territorial)

但し、ICMの市分払戻しはしない。

イ. 電 気・水

電気は市が無料で引く。

上水は、河水を利用するか、井戸を掘る必要がある。(井戸は約120m掘る要あり。)

下水は市が工事する。

ウ. 用 地

市の指定地区に工場を建設すれば、各種の思典が与えられるが、土地そのものは、各企業が独自に購入する必要がある。(私有地を買収)

エ. 電 話

現在10,000台分あり、不足することはない。

オ. 地 価

地区内の地価は㎡当りCr\$2.00~5.00で、最近急激に上昇しつつある。

カ. 公 害

サンパウル市とほぼ同様の規制がある。空気と水の汚染は困るが、音については、住宅地区とわけてあるので問題とはしていない。

キ. そ の 他

現在進出計画中の企業は40~50社あるが、日系では次のようなものがある。

テイジン

アタカ産業

アサヒ化学

丸 紅

三 井

このほか北米、西ドイツ、イタリア系の企業が進出を計画している。

またサンパウロ市からの進出計画も出ている。

2. サルト市

(1) 市概況

ア. 人口

25,000人

イ. 産業

紡績、テックス(防音テックス類)、清涼飲料、砥石。

ウ. 教育、労働力

工業高校がある。

現在、労働者は他へ出稼ぎに出ている者が多いが、企業が来れば戻るので困ることはないとしている。

エ. 交通

サンパウロ市から約100 Km(カステロブランコ街道78 Km地点か、砂糖街道経由。旧道経由では108 Km)

(2) 企業誘致

中心街から1.5 Km、砂糖街道が通るところに128アルケール用意して、企業の誘致を図っている。

ア. 租 税

市税免除20年間(Predial と Territorial)。I・C・Mは市分を10年間返戻する。

イ. 電 力・水

電気、上水(河水から)、下水は市が工事する。

ウ. 用 地

市が無償で供与する。

市はプロジェクトの提出があれば、30日以内に検討し回答すると
している。

エ. 地 価

この近辺の私有地の地価は㎡当りCR\$ 1.50~2.00である。

オ. 企業の義務

当初市民を最低10人雇用すること。6ヶ月以内に工事を始め4年
以内に操業に入ること。

カ. そ の 他

現在相談中の企業

東洋紡, 三菱

サロンパス

ムラタマシーナリー

東洋エンタープライズ

マタラソ

その他多数

3. イッー市

(1) 市 概 況

ア. 人 口 50,000人

イ. 産 業 紡績, 鋳物, 鉄鋼, 陶業, その他

ウ. 教 育 工業高校はないがSENAIがある。

エ. 交 通 カステロブランコ街道經由101Km

(2) 企業誘致

毎年予算を定めて実施しており、今年は40万クルゼイロあったが既

に終了した。

市が土地を買収して無償で供与するため、その費用に相当部分が使われる。

ア. 租 税

10年間免除 (Predial と Territorial)

イ. 電 力・水

電気を引く場合、市は間接的協力のみ。上・下水は、市が工事する。

上水は河水利用のため、工業用水にまわす分には限度があるとみられる。

ウ. 用 地

市が無償供与

エ. 地 価

このあたりの地価は㎡当り CR\$ 2.00 程度

オ. 市 の 希 望

- 給与の高い企業、給与水準を次第に引きあげる企業を望む。
- 公害の少ない企業

カ. そ の 他

現在中田商工が理研ピストンと合併によるピストンリング製造工場の建設を計画中。

4. サンロッセ市

(1) 市 概 況

ア. 人 口

約 40,000 人

イ. 産 業

工業はすくなく、ブドウ酒産地として有名。観光が盛んで、別荘地帯としても注目されている。

ウ. 交 通

サンパウロ市から61 Km

(2) 企業誘致

上記3市に比し起伏が激しく工業地帯としては不向きとみているが、カステロブランコ街道に通じる方面に企業誘致を考えている。

ア. 租 税

10年間免除 (Predial と Territorial)

イ. 電 力・水

市としては特別な恩典は与えないが、豊富である。

イ. 用 地

市が買収し無償で供与。

エ. 地 価

このあたりの一般地価はアルケール当り約CR\$ 60,000

5. そ の 他

この他の市においてもほぼ同様の条件で企業誘致を計っているとみられる。

以 上

添 付 物

ソロカバ市の総体的発展

ソロカバ市の総体的発展

1. 一般状況	10
2. 工業と商業	10
3. 指導と教育	12
4. 体育と文化	13
5. 医療救護	15
6. 公共事業	16
7. 信用機関	17
8. 供給	18
9. クラブと協会	18
10. 通信	20
11. 運輸	21
12. 労働力状況	22
13. 開発方針計画	23
14. 工業地帯	23
15. 動力	24
16. 税制恩典	25
17. 市役所及び市議会	25

1973 10

原文SOROCABA DESENVOLVIMENTO TOTALの要約

1. 一般状況

ソロカバ市は標高が平均600mで、南緯23° 29' 57"および東経47° 27' 25"に位置する。

気候は、最高が平均27.3°、最低平均10.7°で温暖である。降雨量は年間1,200ミリである。

地形は郡境にある山脈のため僅かな起伏状である。

市は郡内を横断してチエテ河に注ぐソロカバ河とイパネマおよびピラジブ川の如く、大して重要でない他の川を使用している。

ソロカバ市は現在市民22万名を数え、1654年8月15日に、バルタザール・フェルナンデスと云うバンデラ探検隊員により創設された。

市は州都(サンパウロ市)から、カステロ・ブランコ大統領道路で86Km, ラボーズ・タバールス道路で96Km, パウリスタ鉄道で105Kmの距離にある。

郡の主なる経済活動は、綿と麻の織物、冶金機械および食料等の工業である。

ソロカバ市は、州の南部地域の自然的状況の中心地として重要視され、サンパウロ州の第4管区の本部として行政地方分権制で選択された。

2. 工業と商業

ソロカバ市の工業は今世紀の始めに、パウリスタ・マンチエスターの異名を得た様に、サンパウロ州のパイオニアである。

現在4万6千名の労働者を使役し、100万CR\$を超える経済活動を維持する工業の506社が数えられる。

ソロカバ市工業の主なる活動として、麻、綿及び合成織物、冶金、機械、飲料水、食料品、鉄鋼資材、家具並びに印刷工業があげられる。

商業は、販売あるいはサービス業の部門なので、4万3千名の商業従業員を使役する、4千8百以上の商店が数えられる。

主なる工業として例挙されるものは、次のとおり。

ナショナル捺染会社、バルペーロ織物工業、KK.ノッサ・セニョー
ーラ・カルモ製絲織物会社、ガスパリアル工業社、マリタル織物、捺
印会社、ガスパリアルスセックス下着類会社、パウリスタ鉄網製造KK.
ノッサ・セニョーラ・アパレンダ、冶金生産社、パーロス・モンテ
テロ冶金会社、ブレード電気材料商工会社、イメルックス冶金会社、
アルベル・フレックス冶金会社、エムプラスーブラジル電気金属KK.
I N F E R - 鉄生産会社、サンパウロ・ゼネラルサービス会社（鉄
筋組立）、ニコルソン・シーレ、インターナショナル（ヤスリ製造）、
S E G A I - 一般機具会社（歯科）、C O N A L - ナショナル、飛行機
製作会社、J A T O - ソロカバ飛行機会社（飛行機部品）、J . D .
ホリンワース織機製作会社、“カッ印”印刷機製作会社、イピラーマ
& ロズメック印刷機製作会社、M A P O L - バルブ包装用品製造会社、
ドルーリスKK（飲料製造）、I B E L - 食料缶詰会社、ソロカバ牛
乳品製造組合、S O C I L - 肥料生産KK、C R E - A N - 着物類工商
社、イパネマ・セメント会社、I N C A L E S A - “J u L L o & J u L
j o” タイル及びセメント加工品会社、バグリアット鉱山会社、フラ
タカル鉱山会社、ネグリッタ化学品生産会社、ソロカバ・ゴム加工工
場、サーラ&マチュリーセメント加工工場、アシテクス伯国生産会社
（朝日化学生産社）、伯国かすが製紙会社、オーメルKK、Z A B O R
機械生産会社、ドメニコ・ベステチ合資会社（水圧起重機）、自動車
部品KK、ホワード器具製作工場、ジュルバツーパー・ブラジルマイクロリ

ッチ機械工場，伯国KIINK（機具），アルドンプラスチック商工（医療器機），プラスロップKK（ペーリング），BORCOL（ゴム加工）セルマル自動制機，プリス機械技術社，FICO鉄材工商，ペテルキッ合資，JARAGUA機械製造KK，

主要商店は次のとおり

エレクトロ・ラジオプラス・スーパー・マーケット，ボン・デ・アスーカル・スーパー・マーケット，八百半スーパー・マーケット，パッカ・スーパー・マーケット，レジオナル支店，ドウカール支店，ウルトラ・ラール支店，ドロカジル（薬店）支店，マンチエスター薬品配給会社，ソロカバール薬品商店，ベルナンブカーナス支店（布，既製品），カリー支店（布，既製品），アラブアン商店，ステッカ貿易，モレノKK建築資材，ウニオン商店，ジアノーラ商店，マウリジォ商店，デロツツ商店，グチェーラ家具店，ミネリー家具店，エレクトロラール家具店，オ・カンセイロ（下着），フォード・ウィリイ車特約店，シュプロレット車特約店，ボルクス・ワーゲン車特約店，メルセーデス・ベンツ車特約店，FNM車特約店，クライスラー車特約店，ピゴレリー・ミシン特約店，エンジン・ミンン特約店，オリベッチ事務機特約店，リキガス（瓦斯）特約店，スベルガスプラス（瓦斯）特約店，ホワイト・マチンス。

3. 指道と教育

ソロカバ市は65,160名近くの学生をもって，青年に対し，又州南部地域に対して，教育の機会を与える広大なる教育援護を具備する郡である。

大学教育では，法科，哲学文科，会社経営科，看護科の各大学及び，体育大学並びに科学技術大学が数えられる。

高等教育は，教育指導技術課程-1，学校経営課程-1，小学校教員養生

学校 - 5, 普通高校 - 7, 工業化学課程 - 1, 測量課程 - 1, 小学校準備科特別課程 - 1, 電子課程 - 1, 下級建築課程 - 1, 秘書課程 - 1, 等で約 7,500 名の学生がいる。

中等教育は, 州立校 - 10, 郡立校 - 2 および, 私立校 - 6, で約 13,000 名の生徒がいる。

技術教育は高水準の工業技術 - 1, ナショナル工業サービス連盟経営分校 - 1, 鉄道学校 - 1, 等約 2,500 名の学生がある。

小学校及び準備科は, 896 教室による公立学校, 遠隔にある学校に 33 教室, 私立小学校 - 5, 郡立幼稚園 - 6, 附属小学校 - 25 教室, 成人教育小学校 - 1, 工業社会サービス連盟経営学校 - 8, 以上に 3,1500 名が数えられる。

補習教育は, 私立幼稚園 - 2, 語学学校 - 5, 建築製図及び絵画学校, 音楽学校, 洋舞校, 中学及び高校速成校, 大学入学準備校がある。

学生数:

大学.....	4,660 名
高校及中学校.....	20,500 "
技術校.....	2,500 "
小学校及準備校.....	31,500 "
補習学校.....	6,000 "
計	65,160 名

即ち総人口の 35% である。

4. 体育と文化

(1) 体育

体育部門では, 全ての学校がバスケット, 室内フット・ボール, バレ

—ボール等の運動を行うための施設を持ち、ある幼稚園は幼児使用のプールがある。

郡立体育館は、8,000名までを収容し得る充分なる建物で、一つの大競技場である。

他方には、ソロカバ民衆参加中央会を構成して、35,000名を収容し得て、多様の競技のために特別の場所のある競技場としての体育館が建築中である。

同じく、娯楽と運動を行うために郡が建設するドクトル・アルチドーロ・マスカレンニャスおよびアンドレ・ビエロン牧師名の競技場が2ヶ所ある。

運動クラブ及び協会は水泳場や運動場を維持している。

実際に、全ての競技は野球からテニス及び最も大衆的なフットボールに至るまで適切なる援助と場所がある。

競技奨励のために、体育中央委員会、郡体育事業局、体育地方委員会、工業社会サービス、及びキリスト教育年協会、スカルバ競技連盟、ソロカバナ・フット・ボール連盟及び他の運動協会並びにクラブの指導の下に、年間競技が行われる。

(2) 文 化

ソロカバ市は、文化地方委員会が郡観光委員会および市文化普及事業局の連盟で文化的性格の促進部内に、責任をもち援護する。これらの委員会や郡観光委員会及び市文化普及事業局と並んで、芸術友人クラブが、ハベエングや音楽歌謡祭、文化及び詩の選考会の事業が行っている。

同じくソロカバナ大学学生の演劇シェクスピアのジューリオ・セザールの劇は1968年における素人演劇の州祭で一等の褒賞を受けた。ソ

ロカバナ・エスベリメントル劇場は毎年の選考会の参加で大きな栄誉を受けた。更に3つの音楽団体(うち一つは軍警第7大隊)及び多数の合唱団と唱歌団が地方文化に寄与している。

地方図書館で最大のソロカバナ図書館の外にすべての大学、高校及び様々な学校が各自の建物に図書館を備えて、公衆が自由に出入し得、特別に語学、作業についての図書館、並びに工業社会サービス連盟の移動図書館のサービスをも併せて、文化の発達に援助している。

5. 医療救護

ソロカバ市は医療院部門の関係で特恵の市である。

高水準の技術者で形成する、全国で最も完全と考えられる医科大学がある。

同じくローマ・カトリック大学の生物医学研究所に附属する看護大学が、数えられる。

療養院、急救院(私立-4、郡立-1)、地方衛生局、家庭救急院、社会保障院の移動医療班、及びその他の援護協会があり、約2,000の寝台を15の病院で所有している。

7つの私立病院が500の寝台を有している。地方療養院は400の寝台を又、結核肺療養院は300の寝台がある。レカール病院、精神療養院が80寝台及び3ヶの精神病院が同じく500の寝台をもっている。

地方衛生局の他に、肺結核とライ病の施療院、マラリヤとシャーガス病の撲滅、予防局、及びアトルフォ・ルツツ協会が設立されている。

社会保障院は移動医療班の他、保険加入患者応待のため、殆どすべての病院と契約している。

工業社会サービス連盟(SES I)は、移動医療班の外、歯科及び新式

検診所での検査も行っている。

主として、小児マヒと天然痘に対する集団種痘実施は、定期的に行っている。更に郡役所は民衆の衛生的見地から、郡内獣医作業で民衆に与える家畜飼料の監督及び家畜の種痘運動の促進を実施している。

医療問題で特記すべきことは、1,000名の住民に対し1人の医者がいることである。

更に市役所は、司法区及び遠隔にある地区に様々の診療所をもっている。

会社に対する特別の医療援護は、会社とウニメド及びポリクリニカと契約により施行している。

6. 公共事業

(1) 水

飲料水及び下水公団(SAAE)は、ソロカバ市の水供給を取り扱う郡の自治団体である。実際に、全市内はもとより遠い地点に至るまで、約50.0kmの水道及び下水網の事業をもつ。一方、従来の水道及び下水網は取替え、さらにその能力を拡大させた。なお貯水地は水をクロール及びフルオールで処理濾過しており、西歴2000年迄は市民に應ずる能力がある。ソロカバ市は、国内で最も基本的衛生について充分に奉仕している市である。

すなわち、住宅の93%に処理済みの飲料水管が敷かれ、建物の85%が衛生下水管をもっている。

(2) 公共照明

非常に多くのキロ・メートルに亘る公共照明の問題に大いに努力し、同時に主なる大街路には水銀燈の照明を取り付けた。これと平行して住宅の照明は、全市に行きわたっている。

(3) 道路舗装

この目的に対し、公開入札で私営会社により施行された。2つの異った計画で公道の舗装が促進されたもので、3年間に街路及びアベニードに60万㎡の舗装と、敷石上への9万5千㎡の再舗装工事である。

(4) 集団輸送

特別認可制のもとに12の私営バス会社が市の末端から司法区内及び工業地帯に至るまで、民衆の運送に応じている。

(5) 公共清浄作業

塵芥収集のために特殊トラックをもうけ、又、他に街路清浄をしているが、この作業は大きな効果をあげている。塵芥工業化は準備中である。

7. 信用機関

ソロカバ市は17店の銀行網と州経済金庫2ヶ所及び連邦経済金庫2ヶ所が数えられる。

種々の営業所が、現金取引制の操作で迅速かつ完全な応待で顧客に用立てている。

銀行営業所は次の如くである。

- サンパウロ・アウシリアル銀行 (K. K)
- 伯国バサリンドウス銀行 (")
- ブラジル銀行(伯銀) (")
- ブラジレイロ・デスコントス銀行 (")
- サンパウロ・ブラメール商業銀行 (")
- ミナス・セライス商工銀行 (")
- サンパウロ商工銀行 (")
- サンパウロ州立銀行 (")

- 南米向けフランス・イタリア銀行 (K. K)
- イタウ・アメリカ銀行 (")
- サンパウロ・メルカント銀行 (")
- ナショナル・ミナス・ゼライス銀行 (")
- サンパウロ州ノロエステ銀行 (")
- リアル銀行 (")
- サンパウロ銀行 (")
- ウニオン・バンコ・ブラジレイロ銀行2店 (")

なお、市にはグエテス・クテル(インデペンデンシアK. K), ラーラ事務所(サンパウロ・ミナスK. K) 及びコンチネタル, インベストバンコ, クレフィスール, アウジ等の如く保険会社を代理するもの, 債権及び証券配給事務所が数えられる。

8. 供給

供給部門では、全地域に広げられる能力をもつ魚類の貯蔵及び製氷に大きな能力があるCEGESPが秀でてゐる。緑地環状地帯は、野菜、七菜及び果物類を産し、農業者の市場(FEIRA), 並びに食料品の大卸市場を通して市に供給している。小売業者, 市営市場, 沢山のスーパーマーケット網, 工業社会サービス連盟及びブラジル食料品会社(COBAL)が応接し又沢山の私営雑貨店が配給の必需品に完全に応じてゐる。乳製品産組は、牛乳及びその加工品を供給する。さらに当市にはコチア農産組の倉庫がある。

9. クラブと協会

市の社交・娯楽部門では、新野外クラブの創設で異常の発展振りである。主なるものとして、フー及びバールを兼ねた食堂2ヶ所の他に池, プー

ル、バスケット場、テニス場、バレーボール場、フットボール競技場及び遊戯場及び遊戯場をもつソロカバナ野外クラブがあげられる。シャングリーラ野外クラブは、主なる特性としての自然状況をもっている。運動と社交を兼ねたイバネマ・クラブ、ソロカバ自動車クラブ及びA・スカルパ・クラブがある。

中央公園には、最も伝統を誇る、ソロカバ・クラブとユニオン娯楽クラブ並に8階にプールを有するガブリエーレ・ダタンチオ・イタリア・ブラジル会が、主なる社交クラブとしてある。市の中央部に競技場をもつスカルパ体育協会及び室内運動場、温水プール及びキャンプ場をもつキリスト青年協会がある。

ソロカバナ鉄道フット・ボールクラブは、競技場、プール及び社交本部、又、サンベント運動クラブは、特級部に加入する職業フット・ボール団を保持している。サンベント運動クラブは、社交本部建物及び水泳プール付き野外運動場を建設中である。

民衆の娯楽として郡役所は、湖水の端に大きな森をもつ郡立キンジレニロ・パーロス公園を創立した。労働者のために、工業社会サービス連盟の援護団が、室内競技場、劇場、水泳プール、マーリヤ場、バスケット場をもって、理想的の条件が与えられている。キンジレニロ・パーロス公園と並んで、歴史博物館、ソロカバナ動物園が設立されている。週末には誘はれる主な場所である。ソロカバ市に本部をもつ沢山の協会、クラブ、会社及びシンジケート等が種々の目的のもとに作られている。

慈善団体は、放棄された未成年者、生活力のない老人、盲人、異常者の援護或は社会的指導等を、州政府社会福祉局地方管区の指導をもって多方面に活躍している。

サービスについてのクラブの中にはロータリー・クラブ（中央・東部・北部及び西部）、リオン・クラブ（中央・西部及び北部）、レデイクラブ、地区友の会及びその他がある。

学生団体としては、大学学生会、高校及び中学校の学生団が数えられる。

種々の職業クラスには、技師協会、医師会、歯科医協会、弁護士協会、ソロカバナ新聞協会、商工農協会、農林協会、ソロカバ友の会、不動産所有主協会、CIESP-FIESP委員会、宗教団、鉄道員協会、スポーツ評論家協会等が維持されている。

シンジケート（労働組合）のうちでは織物、冶金、銀行員、厚紙工業労働者、運転手、土木、家具、食料生産及び農林労働者等が当市に本部をもっている。

10. 通 信

当地の通信は、郡発展の必要に伴い、その架設網の拡大に融通し得るソロカバナ電話架設網会社の自動電話 9,000 台をもって構成されている。郊外電話通信は、サンパウロ市と直通 122 回線及び西部方面奥地向けには直通 60 回線をもち、全国向けには遠距離直通話（D.D.D）が受け入れられるマイクロ・ウェーブ方式を使用し、サンパウロ電気通信会社（TELESP）により用立てられている。国際電話は、(D.D.D) を通してリオ州イタベライにある第 3 人口衛生探索、国際観測所に市からの直通電話方式で直ちに連絡される。

テレタイプ或はモールスを通しての電報作業は、テレックスの 300 本のチャンネルの施設と検問所により、ブラジル郵便・電報会社により受け付けられている。他の通信方法については、パウリスタ鉄道公団（FEPASA）と他の沢山のサービスに応じる市内の種々のラジオ、アマチュア（21）

がある。地方警察署のラジオ事業も、同じく特別な必要に際して利用される。

商業通信に関しては、サンパウロ市のテレビのチャンネルの再放映の郡公事業がある。さらに市内にはラジオ放送局が3局と日刊紙が3紙ある。

1. 運 輸

(1) 道 路

ラポーゾ・タバレス街道と6車線のカステロ・ブランコ大統領街道の2つの街道が州都とソロカバ市を連結している。ラポーゾ・タバレス街道は、当国の南部西部及び北部地域に入る行路であり、カステロ・ブランコ街道は、ソロカバナ及びアルタ・パウリスタ線の間であり、サンパウロ州の肥沃地帯を横断した後パラグァイ国に通ずるマット・グロソ州南部に達する予定である。国際的連結でカステロ・ブランコ街道は、同じくブラジルはポリビアに連絡するであろう。ソロカバ市は、近隣都市との連絡に舗装道路が出来ている。リメイラーイグアッペ街道は、ソロカバ市を経て南部海岸地域との連絡を好都合にする。これらは最新式をもって創設の研究段階にある。

(2) 鉄 道

鉄道運輸は、ソロカバ市とサンパウロ市間は復線、又、ポリビアに至るまでは単線で、ラテン・アメリカに於ける最大の鉄道のパウリスタ鉄道公団により施設された。パウリスタ鉄道公団は、統括鉄道線を経てブラジリアからポルト・アレグレ市に連結する南部主要幹線に通じ、連邦鉄道網に合体するものである。ソロカバとサントス間の路線は、国の鉄道の主なる軸線である。すなわち、州の広い地域とブラジルの主要海港に通じるからである。

チエテ河〜パラナ河からラプラタ盆地までの水路を利用し、マット・グロツソを経てポルビア国に達する。パウリスタ鉄道の相互運輸の方式で、ウルグアイ及びアルゼンチンと連絡している。

パウリスタ鉄道は同じくミナス・セライス、ゴヤス、パラナ及びリオ・デ・ジャネイロ等の州に連結する。伯国鉄道網の殆ど90%の標準内の1m軌道で、種々の連結を容易にする。ソコカベの市に於ける列車の日間運転は、州内生産主要地域に貨物車55輛、客車22輛の流出を与える。

(3) 航 空

ソコカベ市で1つの商社すらも航路を保持していなかつたにも拘らず、昨年は900回の飛行を数える。民間飛行機及び航空タクシーの数が大きく、1日平均3回の飛行が記録されている。これらの飛行の大部分は、ピークラフト・コルポレーションによる認可で、当地に設立せるナショナル飛行機製作会社(COKAL)、或はセスナ・アビエシオンを代理するジャット・アビアソン会社の機械工場維持品の運搬機である。

空港の着陸路面は現在1,200mであるが、州政府の空港管理局及び先日、ラジオ照明を完成した連邦政府の民間航空局の優先計画に含まれており、今年中に拡張と舗装が施行される。

12. 勞 働 力 状 況

工業のための特殊の労働者は、鉄道学校、内国工業サービス連盟の経営学校、総合学校等の職業学校に於て養成しており、生徒は実地教育を受ける故に就職は容易である。

中位水準の技術者は、工業高校及び化学工業、土地測量、製図その他の課程で修学する。

高水準には、会社経営、法科、哲学、文科、医科、看護科、科学技術科、体育科等大学が需要を充している。同じく特殊技術者でない手工労働者も容易である。郡内に存在するこれら技術者の多数に与える特殊従業員の求人懇望する他の市の大会社の広告が、ソロカバ市の新聞に見られることは非常に普通のことである。

13. 開発方針計画

1964年以來ソロカバ市に於ては、社会及び人類の生活の良い条件を市が与えることにつき毎日探求し、郡の発展を指導する方針計画を実施している。

方針計画には、環状放射及外城の大通りを、車輛の運輸が容易となることを目的とする計画がなされ、それらの多くはすでに実施済みのもの或は施行中のものである。

学校、緑地帯、公園、バス停車場、病院地域工場地域、種々の標準の住宅地帯の場所の限定は、方針計画により種々の施設が提出された。それらの進行は、過ぎた年毎に加速的に行われている。幸いにも方針計画は、市の拡大に伴って非常な弾力性を持つものであり、計画そのもの全体的実施に期限がなく、實際的に飲料水の補給、下水の排水及びマルチナル（外廊）大通りを含める交通路の大部分の計画をすでに実現しており、能動的計画である。市の社会、経済調査を基礎として、専門の事務所により作成されたこの方針計画は、西歴2000年に至るまでの市の拡大を予見しての長期計画を設定したものである。

14. 工業地帯

工業発展の為に、交通の流れが速い市への入口の近い、高圧線と水路を利用し得る特別の大面积を郡域へのものと、郊外地域への他のものにと決

定されている。

選定せる工業地帯とは無関係に、市役所は投資者がソロカバ市に創設することに興味を表明することで足り、企業等の計画に必要とされる程の広さを新しい工業の場所とした。

15. 動力

ソロカバ郡内の電力は、ライト電力事業(K.K)による供給である。この会社の電力組織は、自社の発電所のものではなく、国の中央-南部地域にあるCESPとFURNHSの2つの組織から同じく電力を導入している。郡に最も近い発電所は、発電力6,000KVAのイツバラランガである。その電力を、ソロカバ市はライト会社の組織を通じ受けている。それ程にこの地域(ソロカバ市及び近隣の都市)の需要は、イツバラランガの(電力使用)設備能力よりもはるかに高いのである。基本的には、ソロカバ市の供給はイツバラランガ(他域の変電所と連結する)を通してソロカバにいくものと、エドガード・ソウザ(サンターナ・ド・バルナイーバ)の変電所でのライト系統の伝導する8,800ボルトの2つの電線を経て行われている。

エドガード・ソウザ変電所では、4,6500KVAの電力設備のあるソロカバ変電所に供給し、その副変電所は8,800ボルトの電圧を2,300と3,800ボルトの電圧に変える。その他に(郡内には)2,300ボルト(ソロカバの副変電所から受けた)を変圧する合計6,250KVAの電力設備での補助変電所が4ヶ所有る。(ビーラ・ホルテンシア、セラード、ビーラ・アンジェリカ及ビーラ・ガブリエル)。

これ等の2,300と3,000ボルトの2つの電圧の下に、電力は市内にせよ農村にせよ郡内に送電されており、その地方の変圧器を通してそれら

の電圧は2.20 / 1.27 ボルトに下げられている。

以上のことは、市役所の所有するソロカバ市の公基照明網の増加に対して合計1,862 K Vの電力、電導線延長512,000 m及び8,849個の電燈を提供している。

最後にソロカバ市には、88,000 ボルトを需給する2つの消費者 (N. S. アバレシダ冶金とパウリスタ鉄道)があることを紹介せねばならない。これらの消費者は、電力を送電線から直接受けており、ソロカバ副変電所に関連せずに自身の変電圧器を所有している。

ソロカバ市とサンロケ市間の地域における230,000/88,000 V O L T の西部ターミナルの架設は、1975年迄と予定されている。

16. 税 制 恩 典

ソロカバ市に創設にくる新しい工業の全ては郡行政府により充分に受益される。この他に、それらの新会社は、30年まで延期し得る税制恩典で制定する税金免除を享受し得る。

さらに、判然とするために、同じく新企業に対し工業創設のために基本的と考えられる事業を無料で行い、工業開発郡委員会により更に詳細なる他の情報が提供される。

17. 市役所及び市議会

ソロカバ市長は1973年から1977年までの任期4年間で選出されたH R E K A (与党)、元州議、辯護士、ソロカバ法科大学教授で、この任務に第2回目であるドクトル・アルマンド・バタンチオ氏である。副市長は、技師でソロカバに於ける元パウリスタ鉄道機械工場長で、工務及び都市事業担当委員のドクトル・エリオ・フェレイラ氏である。

その他の市長直接の補佐としては、弁護士で新聞記者、法務と内務活動

委員であるドクトル・カエターノ・クラチジ，弁護士，記者で教授で教育と衛生委員であるドクトル・オット・ウエイ・ネット，新聞記者で社会事業委員であるセルジオ・コエーリヨ・デ・オリベイラ，弁護士で財務管理委員であるドクトル・フェルナンド・ボルジョリ，記者で商人で，水及び下水公団の理事であるエリオ・デ・シルバ・フレイタス氏達である。

市長の官房は構成が次の如くである。

官房長はイグーリヤ・ネグラ陸士生で会計及び経営学士であるチマロード・マリンス・ベイシヨット陸軍少佐である。官房史員は教授であり大学生でもあるジルベルト・リベイロ・シャーベス教授である。

市役所の新聞顧問はドクトル・エウリデス・ベルトニ弁護士で記者及び教授である。官房補助員はドミンゴス・B・ドラレリイ法科学生と平信スミエ，会計学及経営学科学生であり日本語通訳である。ソロカバ市議会の議長はオルランド・ベレイラ市議であり次の市議で構成されており1973～1977の4年間のため選出された。（以下略）